

事例番号:320148

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第六部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 39 週 1 日

13:45 内診所見進行および陣痛開始のため入院

4) 分娩経過

妊娠 39 週 1 日

16:17 頃- 胎児心拍数陣痛図で変動一過性徐脈あり

17:20 頃- 胎児心拍数陣痛図で基線細変動の減少を伴う遅発一過性徐脈あり

17:27 頃- 胎児心拍数陣痛図で頻脈あり

17:30 オキシトシン注射液による陣痛促進開始

17:52 自然破水

17:55 頃- 胎児心拍数陣痛図で基線細変動の減少を伴った遷延一過性徐脈、繰り返す高度遅発一過性徐脈あり

18:37 頃- 胎児心拍数陣痛図で徐脈あり

19:04 トップラ法で胎児心拍確認できず

19:15 胎児機能不全の診断で帝王切開により児娩出

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:39 週 1 日

- (2) 出生時体重:3100g 台
- (3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.80、BE 不明
- (4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 3 点
- (5) 新生児蘇生:人工呼吸(バッグ・マスク)、気管挿管
- (6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死、低酸素性虚血性脳症

- (7) 頭部画像所見:

生後 34 日 頭部 MRI で先天性の脳障害を示唆する所見は認めず、多嚢胞性脳軟化症を認め、低酸素性虚血性脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

- (1) 施設区分:病院

- (2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名、小児科医 1 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ:助産師 2 名、看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩経過中に生じた胎児低酸素・酸血症により低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考ええる。
- (2) 胎児低酸素・酸血症の原因は、臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性が ある。
- (3) 胎児は、分娩第 I 期の後半より低酸素の状態となり、その状態が出生時まで進行し低酸素・酸血症に至ったと考える。

3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)

- 1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

- 2) 分娩経過

- (1) 妊娠 39 週 1 日入院時および入院後の対応(内診、分娩監視装置による胎児心拍数の連続監視)は一般的である。
- (2) 17 時 30 分からオキシトシン注射液による陣痛促進を行ったことは医学的妥当性

がない。

- (3) キリシ注射液の投与にあたって文書で同意を得たこと、開始時投与量および投与中に分娩監視装置による連続監視を行ったことは、いずれも一般的である。
- (4) 17時52分に高度変動一過性徐脈が頻発していると担当医が評価した状況で、キリシ注射液の減量もしくは中止について検討したかについては評価できない。また、このことについて診療録に記載がないことは一般的ではない。
- (5) 17時55分頃以降、胎児機能不全の進行を認める状況で経膈分娩を続行したことは一般的ではない。
- (6) 18時15分にキリシ注射液を増量したことは基準を満たしていない。
- (7) 帝王切開決定から35分後に児を娩出したことは一般的である。
- (8) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (9) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管)は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

- (1) 子宮収縮薬の使用にあたっては、胎児心拍数陣痛図を慎重に判読し、胎児機能不全の所見が疑われる場合には原因検索や保存的処置を優先することが望まれる。また、増量にあたっては「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2020」CQ415-3を参照して増量する必要がある。
- (2) 胎児心拍数陣痛図の判読と対応を「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2020」に則して習熟することが望まれる。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児心拍数陣痛図の判読と対応について、医療スタッフが地域を問わず学習で

きる環境を整備することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

地域からの速やかな患者搬送体制の構築が望まれる。